

令和6年度 学校経営方針

1 学校教育目標

ふるさとを愛し 心豊かで 主体的に生きぬく『東和っ子』の育成

(1) 学校教育目標について

コミュニティ・スクールを核とした地域連携型の取組をとおして、地域活性化や家庭教育支援との好循環を生み出し、子どもを取り巻く全ての人の持続可能な幸せを追求するウェルビーイングの精神を高めることで、学校教育目標の達成を図る。

(2) 経営の基本方針について

- ① 学校や地域社会の固有な教育資源を活用し、連携して地域とともにある学校づくりを推進する。
- ② 児童や保護者・地域の願いに応えるために、教職員自らの幅広い研修と実践を重ね、資質向上を図る。
- ③ 教職員一人ひとりの特性と能力を生かし、和と信頼を基調とした協働体制を確立する。
- ④ 危機管理意識の高揚を図り、健康や安全に留意するとともに、落ち着いた学校づくりを推進する。
- ⑤ 豊かな学びを支える整備の充実を図り、常に美しい教育環境の整備に努める。
- ⑥ 推進指標や学校評価を積極的に活用し、学校経営や教育活動の改善を図る。

2 学校運営上の努力事項

(1) 子どもの成長を引き出す教職員の力の育成を図る。

- ・教育資源を有効に活用して、目的の達成を図るマネジメント能力
- ・温かいコミュニケーションによる豊かな人間力
- ・一步踏み出す進取な姿勢
- ・デジタル人材

(2) 地域の教育資源を活用した教育活動の質の向上を図る。

- ・ふるさと東和の地域価値の向上につながる取組
- ・体験活動や企画力・表現力を育成する取組

(3) **確かな学力の定着**と向上をめざす取組を重視する。

- ・学校の組織力の強化
 - －小中や地域と連携したカリキュラム・マネジメント
 - －教育DXの推進（成果につながる働き方改革）
- ・教員の授業力の向上
 - －「わかる授業」「楽しい授業」を実現する授業改善(授業で勝負)
 - －生徒指導につながる授業
 - －ICTの効果的な活用、研修の確保
 - －スーパーハイブリッドな授業の創出 (リアル・デジタル・アナログ)
 - －誰一人取り残されることのない教育の実現
- ・学校、地域、家庭の連携力の強化
 - －学校運営協議会「ユニット型研修」の実践
 - －学校、地域、家庭の課題の共有と解決に向けた取組
- ・校種間連携による教育の充実
 - －英語教育、KS学習、小中高連携

(4) 豊かな心と健やかな体の育成

- ・開発的、予防的な生徒指導や相談体制の充実
 - －いじめ対策委員会、児童理解の会
 - －SSW、適応指導教室
- ・人権尊重の意識を高め、一人ひとりを大切にする人権教育の推進
 - －道徳教育や特別支援教育、読書活動
- ・体力向上に向けた組織的な取組の推進
 - －日常的な運動機会の確保、食育等の計画的な健康教育

(5) 家庭・学校と一体となった学校づくりの推進

- ・コミュニティ・スクールを核とした地域活性化や家庭教育支援
 - －学校・地域連携カリキュラム
 - －「流行と不易」、「新しさとなつかしさ」
- ・地域と連携・協働する活動に主体的に参画する子どもの育成
 - －社会的役割、地域ボランティア(体験活動から)の取組、海洋教育
 - －子どもの学校運営協議会への主体的な参画と協働実践
- ・学校安全の質と水準の向上
 - －生活安全・交通安全・災害安全の取組
 - －通学路の安全点検、専門家と連携した取組